

在宅医療・介護連携室ポピーの取組み



山形市医師会在宅医療・介護連携室ポピー

徳田 喜恵子

鹿野 詩子

於：在宅ケア勉強会

2018.6. 21

山形市より委託されている事業項目(○印)

(厚労省提示8項目中6項目＋その他)

(ア)地域の医療・介護の資源の把握

①在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

②在宅医療・介護連携に関する相談支援

(カ)医療・介護関係者の研修

(キ)地域住民への普及啓発

(ク)在宅医療・在宅介護連携に関する関係市区町村の連携

③その他の事業

委託事業を通してめざすところ

事業

研修
相談支援
資源把握
住民啓発
課題抽出と対応
情報共有への支援
その他

めざすところ

- ・医療と介護関係者の連携推進



- ・医療と介護の一体的提供



- ・地域住民が、住みなれた地域で自分らしい暮らしを続けられる



自分の言葉で
考えてみると……

めざすところを意識しながらの事業展開 今年度の事業計画

研修



大研修からミニ講座まで



病院や施設へも出向いて

目標: 単なる知識の提供ではなく

多職種が**共通言語**を持つ
顔を合わせて連携につながる
支援場面で活用できる→**負担軽減**
地域課題を意識したテーマで



**今年度は
合同や共催を意識**



**他機関、他NWに
ポピーの場を活用してもらう**
年度計画HP参照

より良質なケア提供

相談窓口

既存窓口の補完的役割

29年度3月末までの相談者内訳

・ 医療機関	31件
・ 地域包括	21件
・ 関係機関	7件
・ 居宅介護	1件
・ サービス	12件
・ 住民	27件
・ 他	19件
	計126件

在宅ケア相談窓口とは

パンフレット



内容内訳(1相談に複数内容あり)

・ 医療全般	29
・ 在宅医療	23
・ 介護相談	12
・ 地域資源	18
・ 認知症	10
・ 研修関係	33
・ 職種間連携	33
・ 他	15
	計173件

相談を通して何ができるか

資源をつなぐだけではなくて

▶ 地域多職種へ

- コンサルテーション
- コーディネーション(調整)

● **倫理調整・・・例えば**

- 教育的支援
- 負担軽減

▶ 住民へ

- 適切な医療・介護資源へのつなぎ

次に活かせる
ことを意図して
支援

連携力育成

医療倫理の4原則

- **自律尊重原則**: 自律的な患者の**意思決定**を尊重せよ
- **無危害原則**: 患者に危害を及ぼしてはならない
- **善行原則**: 患者に利益をもたらせ
(**患者にとっての最善は何か**)
- **正義原則**: 利益と負担を公平に分配せよ

倫理の4分割法・・・もやもやを整理

医学的適応 Medical Indication (Beneficence, Non-maleficence: 恩恵・無害) チェックポイント 1. 診断と予後 2. 治療目標の確認 3. 医学の効用とリスク 4. 無益性(futility)	患者の意向 Patient Preference (Autonomy: 自己決定の原則) チェックポイント 1. 患者さんの判断能力 2. インフォームドコンセント (コミュニケーションと信頼関係) 3. 治療の拒否 4. 事前の意思表示 (Living Will) 5. 代理決定 (代行判断、最善利益)
Q O L Quality of Life 1. QOLの定義と評価 (身体、心理、社会、スピリチュアル) 2. 誰がどのような基準で決めるか ・ 偏見の危険 ・ 何が患者にとって最善か 3. QOLに影響を及ぼす因子	周囲の状況 Contextual Features チェックポイント 1. 家族や利害関係者 2. 守秘義務 3. 経済的側面、公共の利益 4. 施設の方針、診療形態、研究教育 5. 法律、慣習、宗教 6. その他 (診療情報開示、医療事故)

医療・(介護)サービス資源の把握:更新予定



サイトからもポピーHPからもご覧いただけます

やまがた・てんどう・かみのやま
医療福祉相談室等パンフレット



ホームページからダウンロード可能
29年度目的別窓口更新

医療機関相談室パンフレットの内容

住所 TEL FAX E-mail			
相談担当部署名	地域医療連携室		
担当者職	地域医療連携室看護師長 1名 医療社会事業専門員 3名 事務 1名		
相談受付時間	平日（月～金）8:30～17:15		
緊急時の連絡先 （休日・夜間等）	病院代表番号（原則として緊急時対応は行っておりません）		
業務内容等	①療養中の心理・社会的問題の相談・調整援助 ②退院支援 ③社会復帰支援 ④受診、受療援助 ⑤経済的問題の相談、調整援助 ⑥地域活動		
病院概要 （病床数等含む）	病床数：308床（内訳 結核30床 重心102床 一般176床） ①神経・筋疾患（てんかん含む）、呼吸器疾患、脳卒中等のリハビリテーション、重症心身障害児（者）に対する医療を中心にを行っています。 ②山形県難病医療ネットワークの拠点病院に位置づけられています。（難病拠点病院） ③てんかん医療を専門に行う「てんかんセンター」を設置しています。 ④山形県で結核病床を有する唯一の病院です。（結核拠点病院） ⑤高次脳機能障がい者支援センターを併設しています。 ⑥地域連携バスの連携病院です。（大腿骨頸部骨折・脳卒中）		
附属サービス			
目的別連絡先	目 的	連絡先部署	T E L（内線等）
	入院時情報届け先	地域医療連携室	
	カンファレンス参加依頼		
	診療情報提供書依頼		
	訪問看護指示書依頼		
	主治医面談依頼		
	ケアの注意点の聞取り等		
	認定調査に係る調整		
	本人面談調整		
	受診相談		
	入院相談		
	ケアプランの送付先		
	その他		

住所 TEL FAX E-mail			
相談担当部署名	○地域医療連携室：入院相談・外来担当 ○医療相談室：病棟担当		
担当者職	地域医療連携室：室長 1名 医療ソーシャルワーカー 2名 医療相談室：6名		
相談受付時間	9:00～17:00		
緊急時の連絡先 (休日・夜間等)	病院代表		
業務内容等	地域医療連携室：入院相談・外来相談・その他医療福祉相談等 医療相談室：療養中の医療福祉に関する相談、退院支援、関係機関との連携調整等		
病院概要 (病床数等含む)	診療科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、外科、 肛門外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経内科、神経内科、耳鼻 いんこう科、眼科、皮膚科、婦人科 総病床数：230床 一般病棟110床、障害者病棟60床、回復期リハビリテーション病棟60床		
付属サービス			
目的別連絡先	目 的	連絡先部署	T E L (内線等)
	入院時情報届け先	医療相談室又は 各病棟へ直接	
	カンファレンス参加依頼	外来：地域医療連携室 病棟：医療相談室	
	診療情報提供書依頼	医事課	
	訪問看護指示書依頼	医事課	
	主治医面談依頼	外来・病棟へ直接	
	ケアの注意点の聞取り等	各病棟へ直接	
	認定調査に係る調整	地域医療連携室	
	本人面談調整	医療相談室又は 各病棟へ直接	
	受診相談	地域医療連携室	
	入院相談		
	ケアプランの送付先	医事課	
	その他	外来：地域医療連携室 病棟：医療相談室	

地域課題①

- ・ **入退院支援**を研修・ヒアリングを通し状況把握
- ・ 山形市担当部署と共に多職種**ワーキンググループ**運営
- ・ **退院支援フロー（地域版）**を完成（退院支援に関するケアマネガイドライン）
- ・ **地域ケアマネジャー、包括職員、訪問看護、小規模多機能に周知**
- ・ 地域の動きを理解してもらう為**市内12病院看護部・連携室訪問**

ワーキング

フロー作成

CMへの周知

病院への周知



本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図 〜暮らしの場にもつためのケアマネジャーの視点〜 山形市版 H29.9月

退院前	退院時	退院後
本人の退院希望を確認し、本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図を提示し、理解を促す。 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図を提示し、理解を促す。 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図を提示し、理解を促す。	本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図を提示し、理解を促す。 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図を提示し、理解を促す。 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図を提示し、理解を促す。	本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図を提示し、理解を促す。 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図を提示し、理解を促す。 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図を提示し、理解を促す。



山形市退院支援フロー(地域版)と 市内病院個別訪問レポート



山形市退院支援フロー(地域版)
完成に伴う市内病院個別訪問レポート

**市内12病院へ
個別訪問して来ました。**



山形市福祉推進部長寿支援課
山形市医師会 在宅医療・介護連携室ポピー

今年度は更に評価と共有:市がCMアンケート予定

地域課題②

- ・精神領域での支援ケースの増加と対応の困難



精神専門医と精神専門看護師の協力の下

- ・研修の場を通して、検討やつながりの形成



今年度
5回シリーズ予定

支援者ネットワークの構築で負担軽減

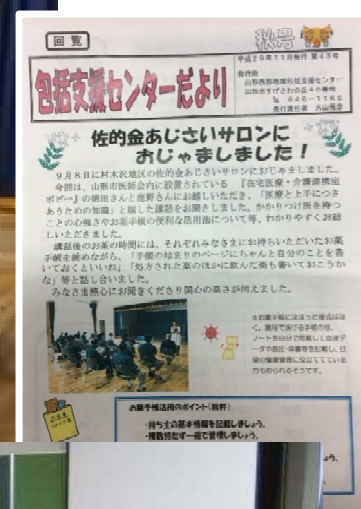
住民普及啓発（包括の協力の元接点を持つ）



蔵王・滝山包括 健康講話



H29年9月8日 佐的金あじさいサロン
「医療と上手につき合うための知識」



南沼原包括 南沼原発生涯現役バリバリ講座



吉野宿 認知症予防カフェ『はじめての一步』



包括ふれあい 看取り研修会

今年度も包括とともに「住民講座：最後の時まで自分らしく生きるために一ACP」を展開予定

その他の事業

・ホームページからの情報発信

[ホーム](#) [事業紹介](#) [研修スケジュール](#) [医療・介護情報](#) [入退院支援ツール](#) [ポピーねっとやまがた](#) [リンク集](#)

山形市医師会 在宅医療・介護連携室「ポピー」
Yamagata City Medical Association
cure and care coordination office

「ポピーねっとやまがた」の提供を開始しました。
※詳しくは当ホームページよりご確認ください。



新着情報

[一覧へ](#)

2018-02-26

NEW! ポピーインタビュー（VOL3.医師 大島扶美氏）

ブログ

Feb 14, 2018

寝返り支援ベッドを体験してきました

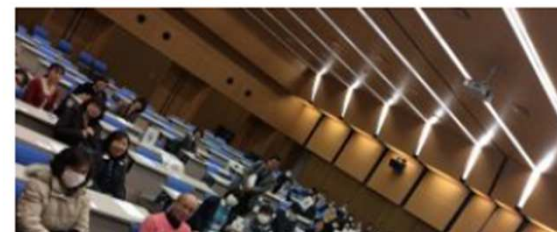
昨年末、おれんじサポートチームこころの情報交換会にて、悠愛会、大島扶美理事長から「自動で体位交換をしてくれる介護ベッドを開発いたしました」とのお話を伺いました。



Mar 5, 2018

「訪問看護を重度化予防に活用しよう」研修開催

●2月27日18時～標記ポピー研修開催しました。（参加者数66名）



モットーは医療・介護連携を楽しく！



交流会



対面する、話を聞く、理解する、協働する、助けあう
そういう場を作ることを楽しむ！

関係職種との会話から
アイデアを！
形に！

動きやすい環境

ポピーがよく
やってくれてる

信頼

相談・報告

ポピー室長
根本 元 医師

連携アイデアをお寄せ下さい！

